

建築改修工事特記仕様書Ⅰ

(令和2年版)

建築改修工事特記仕様書Ⅰ (令和２年版)																															
Ⅰ 工事概要																															
1	工事名	秋田市民俗芸能伝承館外壁改修工事																													
2	工事場所	秋田市大町一丁目３番３０号																													
3	用途地域等	都市計画区域（ ☐ 内・外 ☐ ） 用途地域（商業地域 ☐ ） 防火地域等（ ☐ 防火 ☒ 準防火・法第22条指定地域 ☐ 指定無し ☐ ） その他の地域・区域（ ☐ ）																													
4	主要用途	資料館																													
5	敷地面積	812.41㎡																													
6	その他の条件	垂直積雪量(n) 1.0 風速(Va) 30 ☐ 32 ☐ 34																													
	地表面積区分	☐ Ⅰ ☐ Ⅱ ☐ Ⅲ																													
7	改修内容	(対象棟・工事種別・改修部位等) <table border="1"> <thead> <tr> <th>棟</th> <th>本体棟</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構 造</td> <td>鉄骨造</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>階 数</td> <td>地上5階</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>423.91㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>1,340.02㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">・</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・</td> </tr> </tbody> </table>		棟	本体棟			構 造	鉄骨造			階 数	地上5階			建築面積	423.91㎡			延床面積	1,340.02㎡			・				・			
棟	本体棟																														
構 造	鉄骨造																														
階 数	地上5階																														
建築面積	423.91㎡																														
延床面積	1,340.02㎡																														
・																															
・																															

Ⅱ 建築改修工事仕様

1 共通事項	図面および特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁庁務管理課整備部「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（平成31年）の、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（平成31年版）および「建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）」による。
2 特記仕様書の適用等	(1) 項目は、番号に○印の付いたものを選択する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを選択する。○印の付かない場合は、※印が付いたものを適用する。 (3) ※と○印が付いた場合は、共に適用する。 (4) 特記事項に記載の「および」は内訳番号を、それぞれ公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）および公共建築工事標準仕様書（建築工事編）の当該項目、当該図面又は当該表を示す。
3 特記仕様書の範囲	特記仕様書は、本特記仕様書の他、以下の○印のものを選択する。 ・建築工事特記仕様書 ・電気設備改修工事特記仕様書 ・機械設備改修工事特記仕様書

1
一般
共通
事項

項目

特記事項

①適用基準等

※建築工事監理実施要領（秋田県建設交通部監修）（平成16年版）
※建築工事監理要領（一般社団法人公共建築協会）（平成26年改訂版）
※営繕工事実施要領等（国土交通省大臣官庁官庁管理官庁整備課）（平成21年版）

②工事実績情報サービス（CORINS）への登録

③工事の余裕時間

・適用する（・※発注者指定方式、任意着工方式） ※適用しない
適用する場合は必ず「たる余裕時間に係る特記事項」によること。

④工事写真

分	類	撮影箇所	提出部数
着工前	サービス版	工事写真の撮り方 建築編	1部
工事中	サービス版	工事写真の撮り方 建築編	1部
完成時	サービス版	工事写真の撮り方 建築編	1部
	キャビネット版	監督員の指示による	1部
	原簿添付用 サービス版	着工前・完成時のイメージボード	1部

この表の如き監督員が必要と認め、指示した箇所および部数とする。
また、上記の写真はデジタル写真とし、その仕様等は監督員の指示による。

5概成工期

工事期間より（ ）日前

6電気保安技術者

・適用する ※適用しない

⑦施工条件

○指示による

○工事解説説明事項

種 類	要 素	注 意 事 項
関連工事による施工時期の調整	・有（内容： ）	○無
施工時期・時間の制限	※指定しない	・（内容： ）
部位別施工順序	※指定しない	○指示による
工事用車両の駐車場所	・有（指示による）	○無
資材機材場所	○有（指示による）	・無
関係機関等との協議の未成立事項	・有（内容： ）	○無
関係機関等との協議結果	○有（内容： 東北電力、NTT）	・無
現場代理人	○業務を認める （常駐職務関係の要否を明示する場合）	

⑧施工中の安全確保

※「低騒音型・低振動型建設機械の指針」に関する規定（平成9年建設省告示第1536号）に基づき、指定された建設機械を使用する。
※「建設機械に関する技術指針（平成3年建設省通知第 247号）」に基づき、指定された出力対型建設資材建設機械を使用する。

⑨発生材の処理等

○特定建設資材廃棄物以外の発生材に必要な発生材

種 類	再資源化等をする施設名・住所・搬出距離(km)
建設発生土	契約時の協議による
コンクリート塊	契約時の協議による
アスファルト塊	契約時の協議による
建設発生木材	契約時の協議による

○特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理

種 類	処分施設の名称・住所・搬出距離(km)
上記以外の発生材	契約時の協議による
・引渡しを要するもの（ ）	
・現場再処理発生材（ ）	

特別管理産業廃棄物（ ・有 ○無 ）

アスベスト含有材料 ○無

搬入施設名 秋田県環境保全センター【所在地 大田市広上和広川】

・無放射性アスベストの使用状況

区 画 名	使用部材	詳細(厚さ等)	その他
・非放射性アスベスト成形板の使用状況			
区 画 名	使用部材	詳細(厚さ等)	その他

PCB含有製品の処理

PCB（ポリ塩化ビフェニル）含有機器 ・有 ・無

有の場合は、PCBを含有する電気照明器具等の機器から当該部品を取り外し、漏洩の恐れのない安全な状態に確認し、所定の表示を行い、監督員の指示に基づき監督員に引き渡すこと。

PCB含有シーリング材 ・有 ・無 ・不明（含有成分を明示する）

CCA処理木材およびせっこうボード製品の処分について

種 類	処分をする施設名
・CCA処理木材	・
・木造入骨用ボード	・
・小田原市環境センター（昭和40年3月～平成9年4月に設置）	※管理用建築材料及び発生廃棄物の処理
・カミナミ含有石膏ボード	・小田原環境センター
・石膏ボード（輸入・国産）平成4年4月～平成9年4月に設置	※管理用建築材料及び発生廃棄物の処理
・石膏ボード（輸入・国産）平成4年4月～平成9年4月に設置	※管理用建築材料及び発生廃棄物の処理

参考：「石膏ボード現場分別解体マニュアル」(平成)（平成24年3月国土交通省）

※本工事で発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場へ搬入する建設廃棄物については、建設産業業務課が確認されるのを通じて処理するものとする。

・秋田県建設産業対策センターに係る取扱い要領に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書および資源利用促進計画書を、また工事完成時に計画書の実施書を監督員に提出するものとする。

項目

特記事項

①交通安全管理

関係機関との協議 ●必要（関係機関： ） ○必要なし（1.3.5）
交通誘導員 ●配置する（ ・資機具第18条に規定する特定の種類の作業服を必要とする場合） ○任意な（ ・任意なし（75人・日））
・配置しない
特定の種類の労働業務は、監督職員等の検定等に関する規則（平成17年公安委員会規則第20号）および秋田県公安委員会告示第44号（平成18年10月6日）による。

②事故報告

工事施工中に災害、災害が発生した場合は、直ちに監督官庁に通報するとともに、事故の全容が判明次第、指示する事故報告書により速やかに監督官に出すこと。（1.3.10）

12既存部分の処置

既存部分の養生 ●必要（建設計画： ） ・必要なし（1.3.13）

③建築材料等

※本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、以下のいずれかに該当するものを要する。
1 JISおよびJIS Aマーク表示のある材料
2 エコマーク認定製品（公財日本環境協会）
3 秋田認証リサイクル製品
4 建築材料・設備機器等品質性能評価事業建築物等評価名簿（最新版版）（一社）公共建築協会（以下「評価名簿」という。）に記載の製品
5 以下の①～⑥の事項を満たす材料製造業者等が製造した材料
① 品質および性能に関する試験データを整備していること。
② 安定供給とおよび品質の管理を適切に行っていること。
③ 生産履歴情報が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認定又は許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
なお、⑤の材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能に適合することの証明となる資料あり、外務機関が発行する証明書や写真等を監督職員提出して承認を受けるものとする。
また、商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものと、同等品を使用する場合も監督職員の承認を受けることとする。

④化学物質を放散する
建築材料等

建築物内部に使用される材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)までを満たすものとする。
(1) 合板、木素系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木材製材、ニラ樹皮板、壁紙、接着剤、塗油剤、防腐剤、新素材、塗料、土壌改良剤、アスファルトデブリおよびスチレンを発生しにくい又は放散量が極めて少ない材料で設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分以上に材料を使用する。
(2) 接着剤および塗料は、トルエン、キシレンおよびエテルベンゼンの含有量が小さい材料を使用する。
(3) 接着剤等は、可燃剤（フタル酸ジ-n-ブチルアルコールとn-エタノールキシル等を含有しない難燃性の可燃剤を除く）が添付されている材料を使用する。
(4) (1)の材料を使用して作られた家具、書架、装飾台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒドおよびスチレンを放散しないが、放散量が極めて少ない材料を使用したものとする。
設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の(1)又は(2)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の(3)又は(4)に該当する材料を指す。
(1) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種および第三種ホルムアルデヒド免除建築物以外の材料
(2) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
(3) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定め第三種ホルムアルデヒド免除建築物材料
(4) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

15特別な材料の工夫

建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の材料は、材料調達書の指定する工法によるものとする。

⑤施工調査

施工数量調査 (1.5.2)

調査項目	調査範囲	調査方法	成果品
外壁ラック等	外壁すべて	目視・計測	調査図、一覧表

・既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。（1.5.3）

⑦技能士

●適用する 普通職階級（一般、準一般等の取替作業） ・適用しない（1.6.2）
主（・とり）作業 鉄筋施工（・鉄筋組立作業） コンクリート圧送施工（・コンクリート圧注工事作業） 型枠施工（・型枠工事作業） 鉄骨（・構造物鉄骨工事作業） ブロック建築（・コンクリートブロック工事作業） ALC（ALC内張り工事） ALC（ALC外張り工事） 防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・レタンゴム系塗装防水工事作業 ・アクリルゴム系塗装防水工事作業 ・合成ゴム系二丁防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・コーキング防水工事作業 ・液状アスファルト防水工事作業） 断熱施工工事作業（F R P防水工事作業） 石材施工（・石張り工事） 大理石張り（・大理石張り作業） 建築大工（・大工工事作業） 建築板金（・内外装板金作業）左官（・左官工事） 内装仕上げ施工（・鋼下地加工作業） サッシ施工（・ビル用サッシ施工作業） 自動ドア施工（・自動ドア施工） ガラス施工（・ガラス工事作業） カーテンウォール施工（・金属製カーテンウォール工事作業） 塗装（・塗装塗装作業） 内装仕上げ施工（・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業） 裏装（・壁装作業） 給排水施工（・収付）硬質ウレタンフォーム新設工事作業） 内装仕上げ施工（・カーテン工事作業） 前面係留施設（・滑動式インテリントドーワー工事作業） 加熱（インフラシスター工事作業） 造園（・造園工事作業）

⑧見本施工

仕上がり程度の利用ができる見本工事の実施 (1.6.5)
○実施する（実施する部位：外壁塗装） ・実施しない（1.6.6）

19化学物質の濃度測定

次の要の確率性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。（1.6.9）
※測定対象化学物質：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エテルベンゼン、スチレン
測定時期は 全 会 所 測定対象室は、監督職員の指示による。
また、すべての測定結果においてホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エテルベンゼンおよびスチレンの濃度はそれぞれ同時に測定する。

室の面積A(m ²)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A
測定数	1	2	3	4

・測定方法：測定は、パッシブ型採取機器を用いる。採取機器および採取要領については監督職員の指示による。

⑨技術検査等

●中間検査 工事検査と協議の上、決する。（1.7.2）
●技術検証 ●実施する ・実施しない

実施時期等	施工数量調査後

⑩完成図書等

●完成図面（竣工・施工図）は2分複製とてA1版、A3小版 部を出する。（1.8.1）
○引継書類は、A4クワファイルに製本し41冊出るとする。
○引継書類は受発注後の協同（訂正）を厳しく管理し書類目録により。

⑪電子納品出荷

●電子納品対象工事 ・電子納品対象外工事
C D-R（監督職員提出）提出回数（1）部
送達者は、次により電子納品を行うものとする。ただし、監督職員の承諾があった場合はこの限りでない。
(1) 完成図面は、「工事完成図面の電子納品等ガイド」（以下「要領」という。）に基づいて作成すること。特に記載のない事項については、電子データを作成する義務はないが、解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決するものとする。
(2) 電子データは、「要領」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成すること。

23設備工事との取合い

施工範囲 注）複数箇所にて●印のあるものは、各工事を通ずる。

種別	区 分	電気	機械	建築
梁・柱・壁・装飾部	補 強	●	●	●
埋込型器具類	ス リ ー プ	●	●	●
天井埋込型器具類	補 強	●	●	●
天井埋込型器具類下地	切 込	●	●	●
切込・補強	接 合	●	●	●
設備への接続	差 出 し	●	●	●
防火壁	自 動 閉 鎖 装置	●	●	●
電動シャッター・自動扉	開 閉 装置、二次配線、操作スイッチ	●	●	●
	二 次 配 管	●	●	●
軽重量鉄骨製の機器取り付け用の補強、機器吊ボルト用インピンツ		●	●	●
機械室電気室等の設備機器の基礎、機械室電気室等の設備基礎（含む）、自立型制御盤の基礎、自立型アンテナの基礎、床点検口、天井点検口、消火水精用マニホール		●	●	●

※設備工事
設備機器の位置、取合い等を検討できる総合図面を提出し、監督職員の承諾を受けること。

24契約不適合点検

●適用する ・適用しない
契約事由による契約不適合責任期間満了前（前）に契約不適合点検を行うので受注者は立ち会うこと。

	項 目	特 記 事 項
2 仮設工事	① 仮 囲 い ② 足 場 そ の 他	・ 設ける（位置、種類、延長等は図示） ・ 設けない 内脚足場 木組立、足場板等 ・ 階段仕上足場 ・ 網足場 ・ 移動式足場 ・ その他 外脚足場 ・ 枠組足場 （ ※半ずり先行工法 ・ その他 ） ○くさび緊結式足場 （ ※半ずり先行工法 ・ その他 ） ・ その他 （ ・ 移動式足場 ・ 高所作業車 ） 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」により、設置については「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」によるものとする。
③ 既存部分の養生	防護シート 材料の種類	・ 設ける（シート ※ネット状シート ・ 遮音シート） ・ 設けない ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
4 仮設間仕切り	既存部分の養生 既存取替等の養生 養生の方法	・ 設ける（※ビニールシート等） ・ 設けない 既存取替等の養生 ※ビニールシート等 ・ （ ） ・ 養生を行う ※養生を行わない 養生の方法 （ ） 保管場所 （ ）
5 監督職員事務所	仮設間仕切り	・ 設ける ※設けない ・ A種 ・ B種 ※C種 （詳細は図示） 仮設庫 ・ 設ける ※設けない ※合板張り木製面 ・ アルミ製面 （詳細は図示）
6 工事用水および電力	工事用水	・ 設ける ※設けない 規模： ・ 10m程度 ・ 20m程度 ・ 35m程度 ・ 65m程度 ・ 100m程度 ・ 変圧事務所に中に監督員用スペース（ ） m程度確保する。 備品： ※机、いす、書棚、黒板、ゴム長靴、雨合羽、保管箱、安全帯、冷暖房機器、その他監督職員への指示するもの。
7 工事表示板の設置	位置等 表示時期 表示板の形式	位置等 監督職が特定する位置に 1ヵ所 表示時期 工事着工時から完成時まで 表示板の形式 建 築 工 事 の 表 示 秋田市民役会館延床部外壁改修工事 構造 規模 鉄骨造 地上5階建 工期 期間 令和〇〇年〇月〇日～令和〇〇年〇月〇日 建築主 秋田市長 橋 達 志 設計者 秋田市建設部建築課 工事監理者 外注委託の法人(記入) 工事監督者 秋田市建設部建築課 担当 ○ TEL018-888-5756 工事施工者 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 担当 ○ TEL000-0000-0000 注1 表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。 2 地味色は、ワッセル記号1GY7、5／8とし兼文字（角ゴシック）で表記する。 3 表示板の大きさ ・ 1号（横180cm×縦90cm） ・ 2号（横240cm×縦120cm） ・ 3号（横360cm×縦180cm） ○その他（横90cm×縦45cm） ※建設リサイクル法対象工事は、「届出（通知）済工事」を建設業務許可欄に貼付すること。
8 工事現場のイメージアップ	・ 行う ※行わない 建築物のイメージがわかるようパス等を活用して表示する。 （サイズ800×900 カラーコーラードット加工程度）	
3 防水改修工事	① 隣同等に対する養生 ② 既存防水層の処理	※改修仕様3.1.3(5)ア～ウによる 既存防水層の除去 ・ 行う（範囲、図示による） ・ 行わない 既存防水層の除去 ○行う（範囲、図示による） ・ 行わない 改修用ドレン ・ 設ける（POAS、POASI、POD、PDI、POS、POSI、POX工法の場合、主防水材製造所の仕様による） ・ 設けない（既存再利用） 既存下の地下の構造物および処置 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示による 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う（M4AS・M4ASI・M4C・M4DI・L4X） ・ 行わない 既存防水層の補修および処置（POS工法およびPOSI工法（機械的固定工法）） ・ 既存防水層を除去し防水層を新設とした立ち上がり部の補修および処置 ※改修仕様3.2.6(4)ウ①②③による 架台回り等の処置 ※図示による
3 アスファルト防水	保護被覆防止 防水層の補修	(3.1.4)(3.3) 工 法 種 別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立ち上げ部の保護 ・ P2A ・ A－1 ・ A－2 ・ A－3 ・ P1B ・ B－1 ・ B－2 ・ B－3 ・ P2AI ・ A I － 1 ・ A I － 2 ・ A I － 3 ・ P1BI ・ B I － 1 ・ T1BI ・ B I － 2 ・ B I － 3 改質アスファルトフーイング工の種類のおよび置き ※改修仕様 表3.3.3から表3.3.9による 部分粘着厚付き改質アスファルトフーイング工の種類の及び置き ※改修仕様 表3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリート厚さ ・ てこ仕上げ ※水下 80mm以上 ・ 床タイル張り等の仕上げ ※水下 60mm以上 押入金物の材質および形状寸法 ※図示 ・ アルミニウム製 1＝30×15×2.0(mm) コンクリートの仕上がり巾増量 種別 ・ a種 ・ b種 ・ c種 ・ 改修仕様 表8.1.5による 屋上排水溝 ・ 適用する（図示） ・ 適用しない 防水層露出防水工法 防水層の種類 工 法 種 別 施工箇所 断熱材 仕上げ材料 使用量 備考 ・ MC ・ C－1 ・ C－2 ・ C－3 ・ C－4 ・ MD ・ PD ・ D－1 ・ D－2 ・ D－3 ・ D－4 ・ PODI ・ NDI ・ M4I 改修仕様 3.3.2(9) (種類) ・ 製造所 製造所の仕様による (厚さ) ・ 25mm 製造所の仕様による

4改質アスファルトシート防水

脱気装置の種類および設置数量
※アスファルトーフリング類製造所の指定による
屋根露出防水絶縁断熱工法の断熱材
ルーフトレイン回りおよび立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
・図示による
屋上排水溝・浴槽等常時水に接する部位
屋上防水層の種類
工 法種 別施工箇所断熱材仕上り塗料備考
・PIE・E-1保護層・設ける
・PZE・E-2・設けない
・E-1の工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)
押入金物の材質および形状寸法
※図示・アルミニウム製 L=30×15×2.0mm
屋上排水溝・浴槽等 (図示)・適用しない
防水層の種類
工 法種 別施工箇所断熱材仕上り塗料備考
・MAAS・AS-U-1・AS-U-2・製造所の仕様による※製造所の指定による脱気装置・設ける改修用ドレン・設ける
・MSAS・AS-U-3改修仕様3.4.2(3)(ウ)(種類)・改修用ドレン・設ける
・POAS・AS-U-4・AS-U-1・AS-U-3 (PMS法を含む)改修仕様3.4.2(3)(エ)(b)(種類)・改修用ドレン・設ける
・WAS1・AS-I-U-1改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・WAS1・AS-I-U-1改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・POAS1・AS-I-U-1改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
改質アスファルトシートの種類および厚さ
※改修仕様 表 3.4.1 から表 3.4.3 による
接着層付改質アスファルトシートおよび部分接着層付改質アスファルトシートの種類および厚さ
※改修仕様 表 3.4.1 から表 3.4.3 による
屋根露出防水絶縁断熱工法および屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類および設置数量
※アスファルトーフリング類製造所の指定による
押入金物の材質および形状寸法
※図示・アルミニウム製 L=30×15×2.0mm

5合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種類
工 法種 別施工箇所断熱材仕上り塗料備考
・POS・S-F-1・製造所の仕様による※製造所の仕様による脱気装置・設ける
・SAS・S-F-2改修仕様3.5.2(3)(エ)(b)(種類)・改修用ドレン・設ける
・SSS・S-F-1・S-F-2改修仕様3.5.2(3)(エ)(b)(種類)・改修用ドレン・設ける
・MAS・S-M-1・S-M-2・S-M-3改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・POS1・S-I-F-1改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・SSS1・S-I-F-2改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・SAS1改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・WAS1改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・S-I-M-1改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・S-I-M-2改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・S-M-2の場合で立上りが接着工法の場合
立上り面のシート厚さ ※1.5mm
・S-I-M-1およびS-I-M-2の場合の防湿用フィルム・設置する・設置しない
屋上防水層の種類
種 別施工箇所保護層
平面的モルタル塗り
塗り厚さ
立上り部の保護モルタル塗り厚さ
・S-C1・工法・床塗り工法・下地モルタル塗り※7mm以下
床塗りの場合の床の目地
目地割リ ※2m程度 最大目地間隔3m程度
目地の種類 ※参照目地
ルーフィングシートの種類および厚さ
※改修仕様 表 3.5.1 から表 3.5.3 による
断熱シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質および寸法形状
※厚さ 0.4mm以上で防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板およびそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板
脱気装置の種類および設置数量
※ルーフィングシート製造所の指定による
構造工法、目地処理 PCT地の場合
PCTコンクリート部材の隅部の増張り (種類 S-F-1、S-I-F-1 の場合)
・行う (図示) ・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張り付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

⑥塗膜防水

○図示
防水層の種類
工 法種 別施工箇所断熱材仕上り塗料備考
・POX※X-1・製造所の仕様による※製造所の仕様による脱気装置・設ける
・LAX※X-2改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・PIY※Y-2改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
・PZY※Y-2改修仕様3.5.2(3)(イ)(a)(種類)・改修用ドレン・設ける
ウレタンゴム系膜防水X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類および設置数量
※主材製造所の指定による

準

項 目

特 記 事 項

⑦ シーリング

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
①シーリング再充填工法
・底層シーリング再充填工法
・ブリッジ工法：ポンドブリーダー張り
・エッジング材張り
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準表3.7.1による

(3.7.2.3, 7.8)

8 と い

・その他の材料
・配管用鋼管 (SGP-白) ・硬質塩化ビニル管 (VP) ・ルーフドレイン
・ステンレス鋼管 (JIS G 4305) ・ステンレス鋼管 (両端用既製品)
ルーフドレインの材質その他

(3.8.2, 3)

9 アルミニウム製窓木

種別
・オープン形式 (※図示 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形) (3.7.2.3)
・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・ シール形式)
本体幅 () mm 板厚 (2.0mm ～ mm)
表面処理 種別 () 行う (範囲 ・ 図示 ・)
既存窓木等の撤去 ・ 行わない ()
下地補修の工法 ・ 図示する ()
板材折曲げ形窓木の取付方法 ※図示 ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力および積雪荷重に対応した工法等
※図示 ・ ()

(3.7.2.3)

10 施 工 票

・屋根防水工事完了後、仕様、施工業者名、完成年月日を記載した施工書を監督職員の指示する位置に取り付ける。
仕 様
完成年月日
施 工 者
125mm程度

4-1 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

1 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

・樹根注入工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3, 4～6)
工法の種類
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・ 0.2以下～1.0以下 ※200～300 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法 ・ ・
エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形
注入状況の確認方法 ・ コアの採取を行う ・ 行わない
換取り回数 ※長さ 500mmごと及びその換数につき1個 ・ ()
換取り部の補修方法 ※図示 ・ ()
・リカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ・ ()
ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
※充填工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3, 7)
・エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

(4.1.4) (4.2.2) (4.3, 4～6)

4-2 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

1 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

・樹根注入工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3, 4～6)
工法の種類
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・ 0.2以下～1.0以下 ※200～300 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法 ・ ・
エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形
注入状況の確認方法 ・ コアの採取を行う ・ 行わない
換取り回数 ※長さ 500mmごと及びその換数につき1個 ・ ()
換取り部の補修方法 ※図示 ・ ()
・リカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ・ ()
ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
※充填工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3, 7)
・エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

(4.1.4) (4.2.2) (4.3, 4～6)

2 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

2 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

・充填工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3, 7)
・エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル
既製品地材 ・ 使用する (※表) ・ 使用しない
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・ ()

(4.1.4) (4.2.2) (4.3, 7)

3 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

3 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

・アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法
・アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法
・アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・注入口付アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・充填工法
・モルタル塗替え工法
アンカーピン
※ステンレス鋼 (SUS403) 呼び径 4mmの丸棒で金ネジ切り加工をしたもの
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼 (SUS403) 呼び径6mm程度
充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法
材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 ()
既製品地材 ・ 使用する (※表) ・ 使用しない
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・ ()

(4.1.4) (4.2.2) (4.3, 4～6)

3 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

3 外 (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)

工 法

アンカーピンの
本数 (本/㎡)
一般部 指定部

注入口の面積 (㎡)
一般部 指定部

注入量
(mL/㎡)

・アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法
・アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法
・アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・注入口付アンカーピンニング
部分エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング
全面エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング
全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・充填工法
・モルタル塗替え工法
アンカーピン
※ステンレス鋼 (SUS403) 呼び径 4mmの丸棒で金ネジ切り加工をしたもの
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼 (SUS403) 呼び径6mm程度
充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法
材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 ()
既製品地材 ・ 使用する (※表) ・ 使用しない
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示 ・ ()

(4.1.4) (4.2.2) (4.3, 4～6)

(令和2年版)

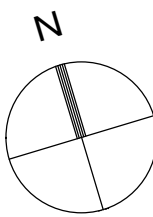
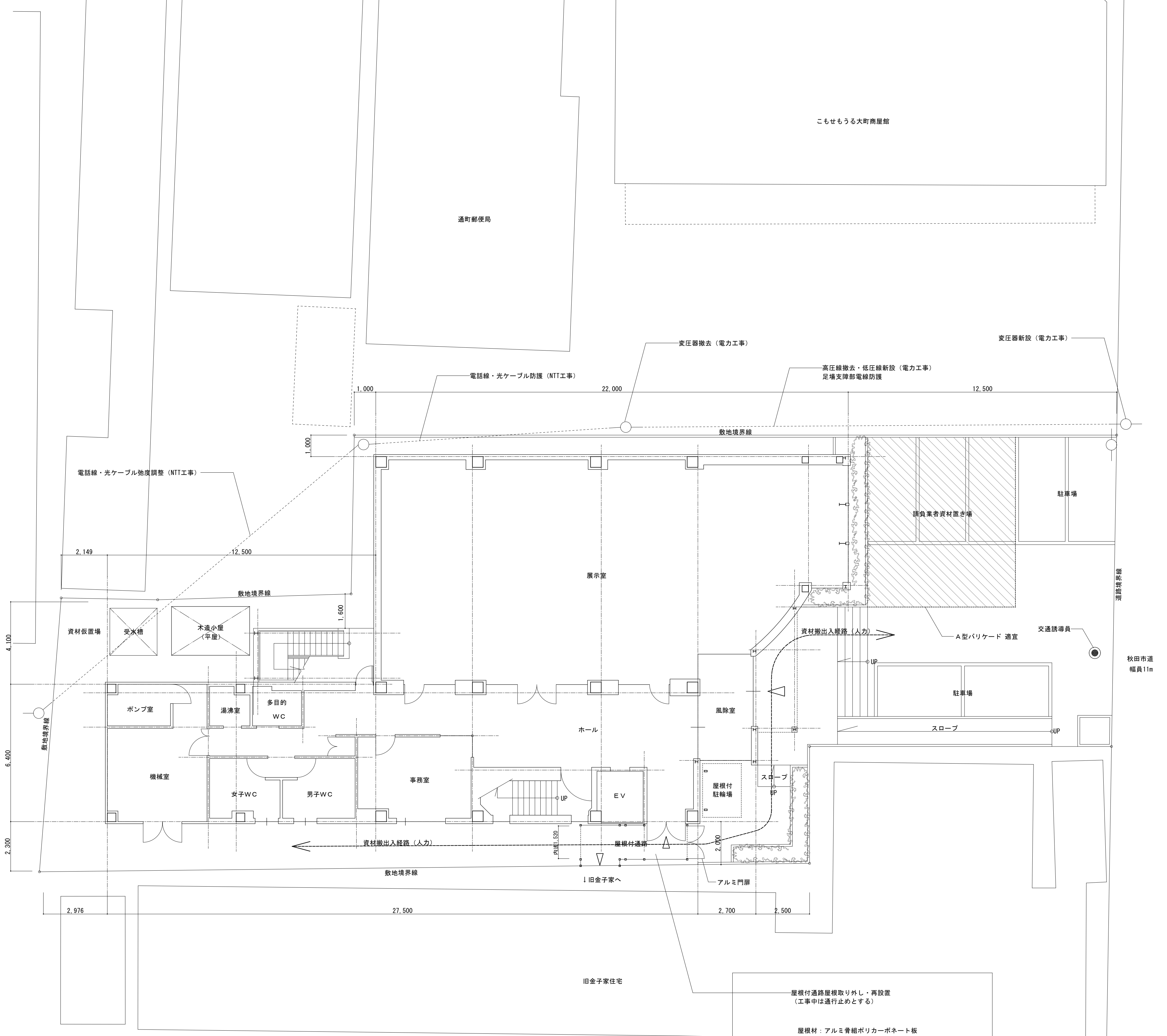
秋 田 市 建 設 部 建 築 課	件 名		秋田市民俗芸能伝承館外壁改修工事						種 別	建築改修工事特記仕様書Ⅱ			特 記	10	図面番号	2
	課 長			副参事		副参事		設 計		縮 尺				枚 / 内		
									設計年月日	R02. 07	年 度	R02		区分 A		



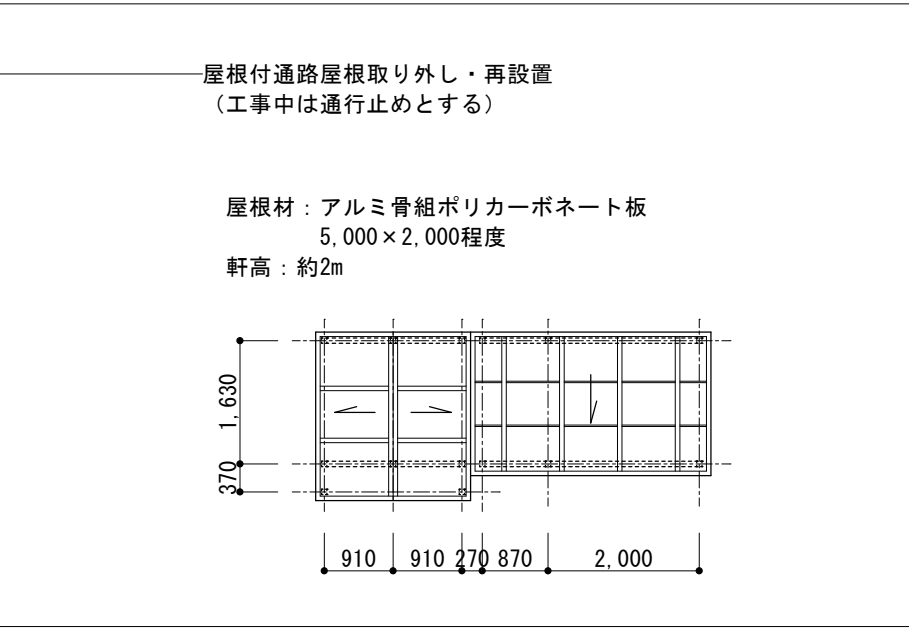
秋田市大町一丁目3-30



工 事 概 要			
構 造 ・ 規 模	鉄骨造 5階建て (H4. 3築)		
工 事 内 容	・外部シーリング打ち替え		
	・外壁塗装 (押出成形セメント板、カラーアルミ緑青板、アルミパネル等)		
	・外壁タイル貼り替え		
	・鉄骨屋外階段塗装		
	・外壁押出成形セメント板一部貼り替え		
外部共通仮設	・A型バリケード (「立入禁止」表示付き)	1 5 m 程度	
	・交通誘導員 1 人 (常駐)	7 5 日 程度	
特 記 事 項			
1. 当該施設は本工事期間も通常運営する為、来館者・歩行者等への安全対策を十分検討し、事故等の防止に最善を尽くすこと。			
2. 当現場の搬出入経路は大変狭く限定的であるため、資材運搬は、原則人力による。			
3. 工事関係車両の駐車場は必要に応じて周辺に用意すること。			
4. 館内における資材等搬出入の際は、適宜、床養生等を行うこと。			
5. 本工事に伴う、電気事業者に対する諸工料は請負者にて前払いすること。(税抜¥548,762円)			
6. 本工事に伴う、電気通信事業者に対する諸工料は請負者にて前払いすること。(税抜¥95,900円)			

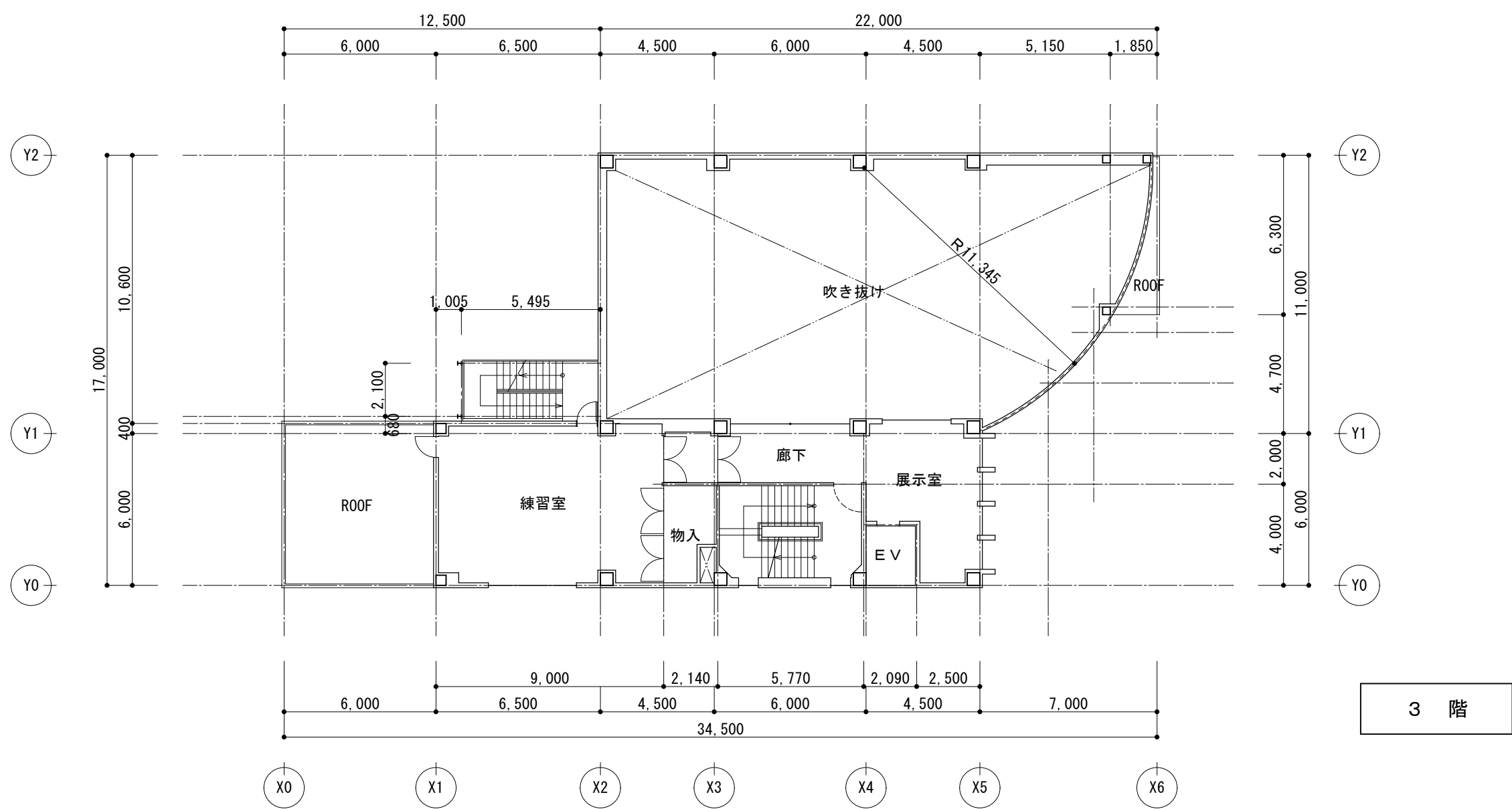
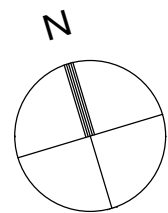


配置図兼仮設計画図
(A1) S=1/100 (A3) S=1/200

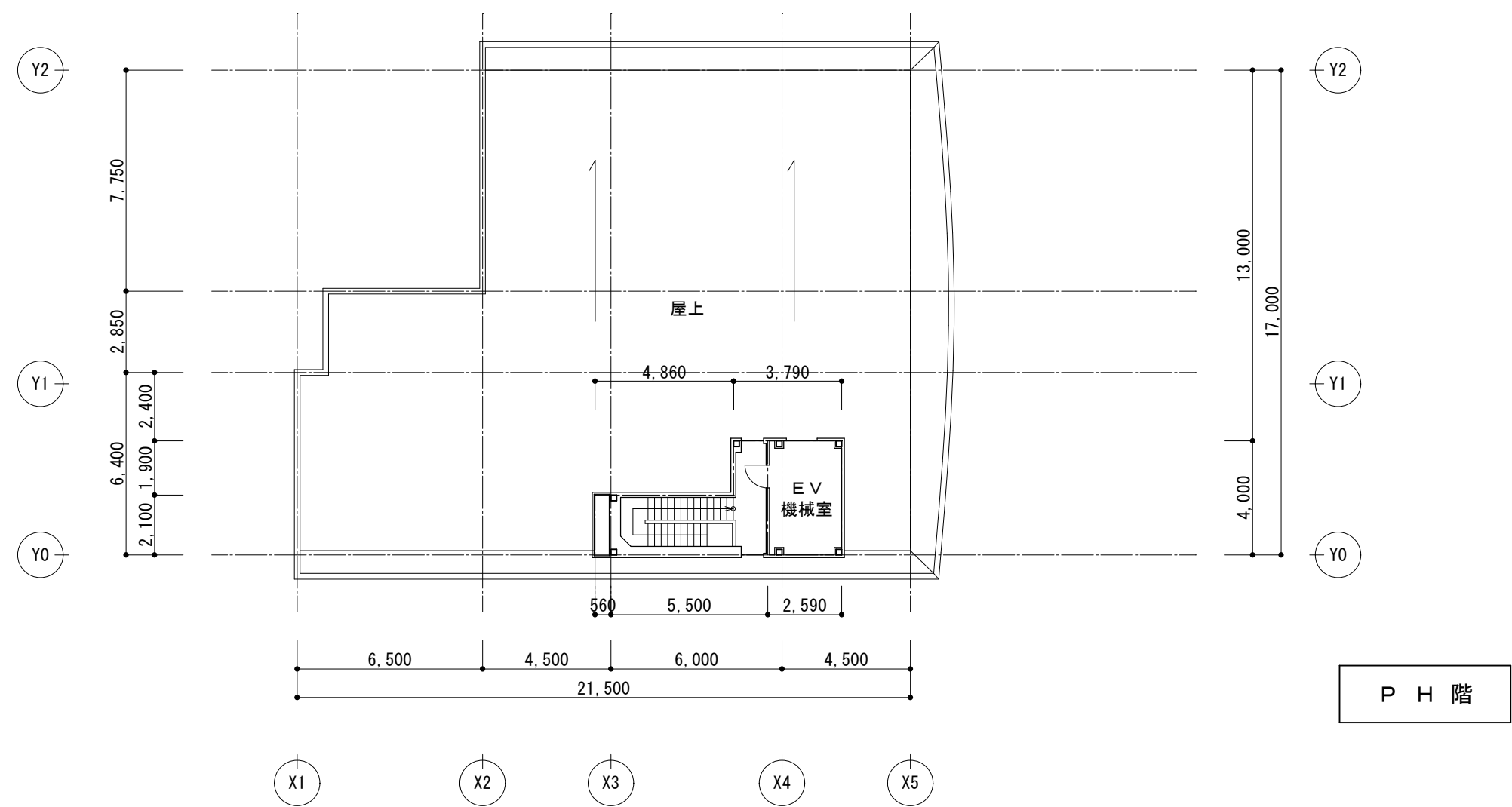


秋 田 市 建 設 部 建 築 課	件 名		秋田市民俗芸能伝承館外壁改修工事					種 別	付近見取図、配置図兼仮設計画図、工事概要			特 記	10	図面番号	4
	課 長			副参事		副参事		設 計		縮 尺	(A1) 1/100 (A3) 1/200				
									設計年月日	R02.07			年 度	R02	枚ノ内

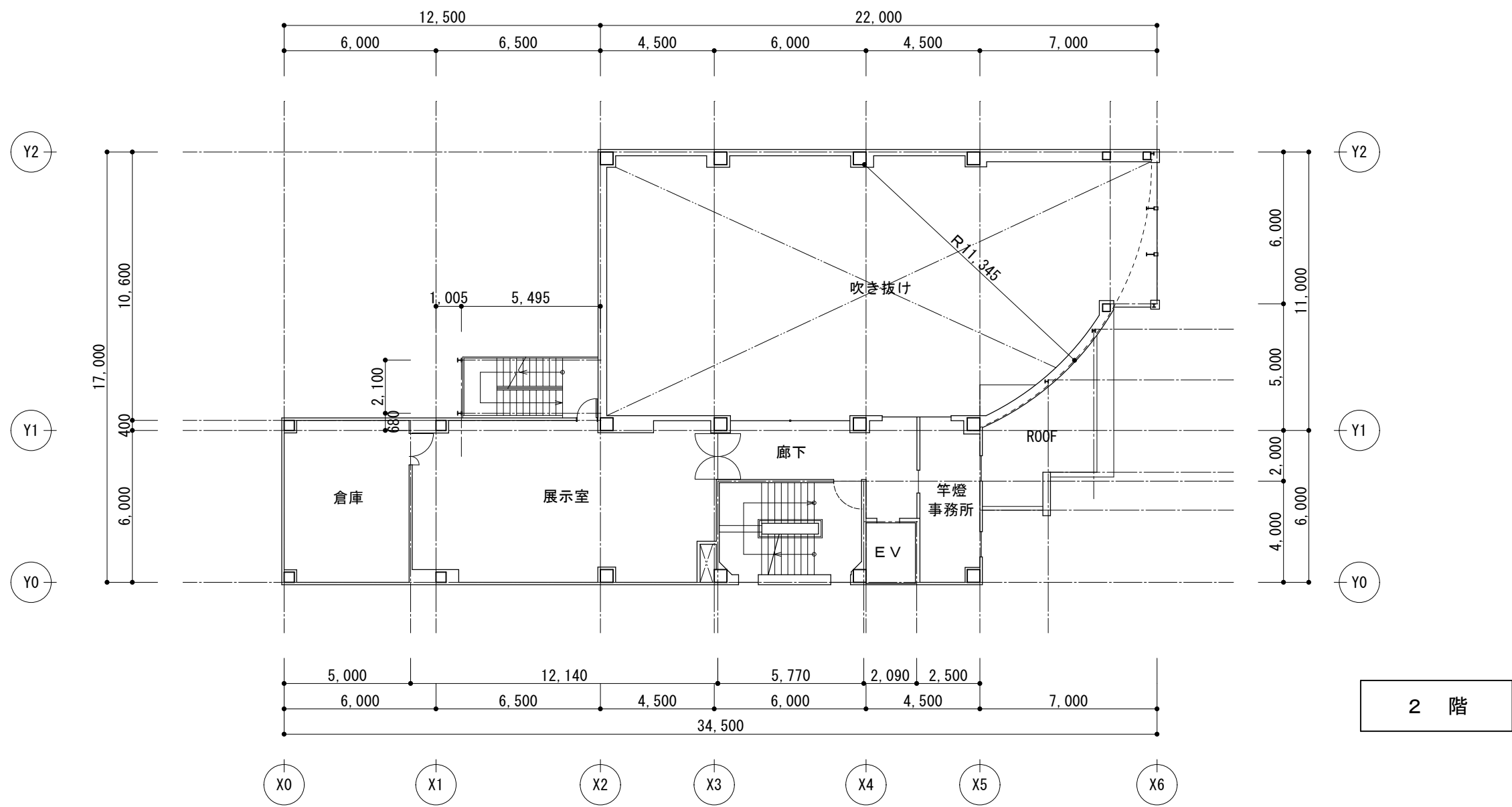
外 部 仕 上 表																						
名 称		記 号	改 修 概 要			数 量	名 称		記 号	改 修 概 要			数 量									
外 壁 （一 般 部）	Ⓐ-1	既 存	押出成形セメント板（t=65）シリコン系塗料吹付			1,320 m ²	基 礎 巾 木	Ⓚ	既 存	コンクリート打ち放し			／									
		改 修	ひび割れ部補修（防水形クラック補修材100m程度）の上、塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整R8種 ＋ DP塗装（A－1種 フッ素樹脂系）						改 修	既存のまま												
	Ⓐ-2	既 存	押出成形セメント板（t=65）シリコン系塗料吹付			33.9m ²	天 端 （出窓上部）	Ⓛ	既 存	アルミ板（t=2.0）下地 塩化ビニル樹脂系シート防水 t=2.0			（1箇所2.5m ² 程度） 2箇所									
		改 修	既存押出成形セメント板撤去後、押出成形セメント板（t=60） ＋ 高圧水洗 ＋ 下地調整RA種 ＋ DP塗装（A－1種 フッ素樹脂系）						改 修	既存塩ビシート防水撤去後、ウレタンゴム系塗膜防水（X－2）												
外 壁 （タイル部）	Ⓑ	既 存	押出成形セメント板（t=65）下地 タイル貼り 600角 300角			46.4m ²	天 端 （大開口上部）	Ⓜ	既 存	アルミパネル（t=25）下地 アスファルト防水			（4 m ² 程度） 1箇所									
		改 修	タイル張り替え（LIXIL フェディール600角 HI-TAK工法 程度） ※タイル撤去後、押出成形セメント板下地のひび割れ等の状況を確認のこと。						改 修	既存アスファルト防水存置の上、トップコート塗布（シルバー）												
外 壁 （緑青色瓦葺部）	Ⓒ	既 存	防火サイディング下地（t=12.5） ＋ カラーアルミ緑青板（t=0.8）			235 m ²	屋 外 階 段 （柱・ささら・段板）	Ⓝ	既 存	変成エポキシ樹脂系錆止め塗装 ＋ アクリル変成エポキシ樹脂塗装			175 m ²									
		改 修	塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整RC種 ＋ DP塗装（C種－1 フッ素樹脂系）						改 修	塗装改修 下地調整R8種 ＋ 変性エポキシ樹脂さび固定液塗布（全体の3割程度） ＋ DP塗装（B種－1 フッ素樹脂系）												
外 壁 （緑青色部）	Ⓓ	既 存	アルミパネル（t=25）フッ素樹脂焼付塗装			37.0m ²	屋 外 階 段 （手摺・支柱・格子）	Ⓝ	既 存	変成エポキシ樹脂系錆止め塗装 ＋ アクリル変成エポキシ樹脂塗装			422 m ²									
		改 修	塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整RC種 ＋ DP塗装（C種－1 フッ素樹脂系）						改 修	塗装改修 下地調整R8種 ＋ DP塗装（B種－1 フッ素樹脂系）												
外 壁 （緑青色独立壁等）	Ⓔ	既 存	複合耐火パネル（t=35 表面材珪酸カルシウム板） シリコン系塗装			338 m ²	屋外階段天井	ⓐ	既 存	LGS ＋ 耐水石膏ボード（t=9.0） ＋ フレキシブルボード（t=5.0）目透かし貼り AEP			13.4m ²									
		改 修	塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整R8種 ＋ DP塗装（A－1種 フッ素樹脂系）						改 修	塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整RC種 ＋ EP塗装												
外 壁 （緑青色独立壁等）	Ⓕ	既 存	アルミ板（t=2.0）曲げ加工 フッ素樹脂焼付塗装			13.4m ²	ポーチ雨樋	ⓑ	既 存	軒樋：アルミ製 100角 焼付塗装 縦樋：アルミ製 60φ 焼付塗装			4.3m ²									
		改 修	塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整RC種 ＋ DP塗装（C種－1 フッ素樹脂系）						改 修	塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整RC種 ＋ DP塗装（C種－1 フッ素樹脂系）												
外 壁 （バラスト側面）	Ⓖ	既 存	アルミスバンドレール			208 m ²	ポーチ天井	Ⓒ	既 存	LGS ＋ 耐水石膏ボード（t=9.0） ＋ ロックウール吸音板（t=15）凹凸 アルミ見切り縁			7.6m ² 見切縁 10.0m									
		改 修	塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整RC種 ＋ DP塗装（C種－1 フッ素樹脂系）						改 修	既存LGS撤去後 新規LGS25 ＋ 耐水石膏ボード（t=9.0） ＋ ロックウール吸音板（t=15）凹凸 アルミ見切縁撤去新設 ダウンライト5箇所取り外し・再設置												
笠 木 （銅板）	Ⓗ	既 存	アルミメッキ銅板（屋上面から天端までR1防水改修工事により塗装済み）			4.2m ²	サーモスタット収容箱 （電気設備）	Ⓡ	既 存	樹脂製収容箱			1箇所									
		改 修	側面：塗装改修 高圧水洗 ＋ 下地調整RC種 ＋ DP塗装（C種－1 フッ素樹脂系）						改 修	撤去新設（別紙参照）												
笠 木 （アルミ）	Ⓘ	既 存	アルミ笠木（W=200、250）			／	ウェザーカバー （機械設備）	Ⓢ	既 存	鋼製ウェザーカバー			2箇所									
		改 修	既存のまま						改 修	撤去新設（別紙参照）												
水 切	Ⓙ	既 存	アルミ水切（t=1.5）			／	小屋裏換気口	Ⓙ	既 存	小屋裏換気口 150φ			16箇所									
		改 修	既存のまま						改 修	シーリング打ち替え												
シーリング改修工事概要							既存サッシリスト															
名 称		改 修 仕 様		数 量	備 考			符 号	数 量	サッシ寸法		備 考		符 号	数 量	サッシ寸法		備 考				
										巾(W)		高(H)				巾(W)		高(H)				
サッシ廻りシーリング撤去新設		MS-2 15×10		903 m	外縁縁内外			AD-1	1ヶ所	3,320 ×	2,785	サッシクリーニング ガラス共 片面		AW-4	6ヶ所	780 ×	1,660	サッシクリーニング ガラス共 片面				
目地シーリング撤去新設		MS-2 15×10		491 m	押出成形セメント板横目地			AD-4	1ヶ所	2,365 ×	2,785	〃		AW-5	4ヶ所	780 ×	780	〃				
〃		MS-2 15×10		2,185 m	押出成形セメント板縦目地			AD-8	1ヶ所	1,680 ×	2,760	〃		AW-6	1ヶ所	2,280 ×	1,500	〃				
〃		MS-2 10×10		37.4 m	タイル目地			AD-9	1ヶ所	1,680 ×	2,500	〃		AW-7	2ヶ所	1,080 ×	570	〃				
〃		MS-2 10×10		587 m	アルミパネル部等			AD-10	5ヶ所	800 ×	2,000	〃		AW-8	2ヶ所	1,080 ×	780	〃				
雑部シーリング撤去新設		10×10		1 式	小屋裏換気口周り等			AD-12	1ヶ所	780 ×	1,800	〃		AW-9	1ヶ所	3,460 ×	1,500	〃				
								AD-14	1ヶ所	825 ×	1,800	〃		AW-10	1ヶ所	3,480 ×	900	〃				
								AW-1	1ヶ所	1,485 ×	8,985	〃		AW-11	2ヶ所	2,880 ×	900	〃				
											5,490 ×	8,985	〃			AW-25	1ヶ所	2,880 ×	1,500	〃		
											AW-2	4ヶ所	1,162 ×	12,015	〃			AW-13	1ヶ所	2,880 ×	2,160	〃
											AW-3	2ヶ所	3,500 ×	1,500	〃		AW-14	1ヶ所	1,680 ×	2,160	〃	
内 部 仕 上 表																						
階	室 名		床			巾 木		壁			天 井			天井高	見切縁	家具、備品等						
1階	風 除 室	既 存	コンクリート下地 タイル貼り			SUS製		－	70	複合耐火パネル（t=35）シリコン系塗装			LGS19 ＋ 耐水石膏ボード（t=9.0） ＋ ロックウール吸音板（t=15.0）			2,800	アルミ製					
		改 修	既存のまま			既存のまま		－	同上	塗装改修 下地調整R8種 ＋ DP塗装（A－1種 フッ素樹脂系）			既存のまま			同 上	既存のまま					
	機 械 室	既 存	コンクリート下地 モルタル金ゴテ仕上			モルタル金ゴテ		－	250	グラスウールボード（t=25） 一部 グラスウール16kg（t=100）			LGS19 ＋ グラスウールボード（t=25）			3,000	－					
		改 修	既存のまま			既存のまま		－	同上	一部既存撤去後、グラスウールボード（t=25） グラスウール16kg（t=100） 新設			一部既存撤去後、LGS19 ＋ グラスウールボード（t=25）新設			同 上	－					
1と5階	階 段 室	既 存	1・2階：モルタル金ゴテ下地 ＋ ビニル床タイル（t=3.0） 3・4・5階：モルタル金ゴテ下地 ＋ ビニル床シート（t=2.5）			SUS製ノンスリップ SUS製ノンスリップ		－	70	LGS65 ＋ グラスウール16kg（t=100） ＋ 石膏ボード（t=12） ＋ ビニルクロス			LGS19 ＋ 石膏ボード（t=9） ＋ ビニルクロス			－	塩ビ製					
		改 修	既存のまま			一部撤去後、ビニル製新設		－	同上	一部既存撤去後、LGS65 ＋ グラスウール16kg（t=100） ＋ 石膏ボード（t=12.5） ＋ ビニルクロス新設			一部既存撤去後、LGS19 ＋ 石膏ボード（t=9.5） ＋ ビニルクロス新設			－	一部撤去後、塩ビ製新設					
4階	ロ ビ ー	既 存	コンクリート下地 タイルカーペット貼り			木製		SOP	70	LGS65 ＋ グラスウール16kg（t=100） ＋ 石膏ボード（t=12） ＋ ビニルクロス			LGS19 ＋ 石膏ボード（t=9） ＋ ビニルクロス			2,700	塩ビ製					
		改 修	既存のまま			一部撤去後、木製新設		同上	同上	一部既存撤去後、LGS65 ＋ グラスウール16kg（t=100） ＋ 石膏ボード（t=12.5） ＋ ビニルクロス新設			一部既存撤去後、LGS19 ＋ 石膏ボード（t=9.5） ＋ ビニルクロス新設			同 上	一部撤去後、塩ビ製新設					
5階	控 室 2	既 存	置床下地（H=419） 畳敷き 一部 天然木化粧複合フローリング（t=12）			畳寄せ		－	－	LGS65 ＋ グラスウール16kg（t=100） ＋ 石膏ボード（t=12） ＋ ビニルクロス			LGS19 ＋ グラスウール16kg（t=100） ＋ 化粧石膏ボード（t=9）			2,500	－					
		改 修	フローリング部撤去後、置床下地（H=419） 天然木化粧複合フローリング（t=12）			一部撤去後、畳寄せ新設		汚れ止め	－	一部既存撤去後、LGS65 ＋ グラスウール16kg（t=100） ＋ 石膏ボード（t=12.5） ＋ ビニルクロス新設			既存のまま			同 上	－					
特 記 事 項																						
1. 参考図として、平成3年度新築当時の建築図面を添付するが、本工事の設計図と差異がある場合は、本設計図を優先すること。																						
2. 特記なき内部造作材は、スプルス集成材 t=20（仕上寸法）とする。																						
3.																						
4.																						



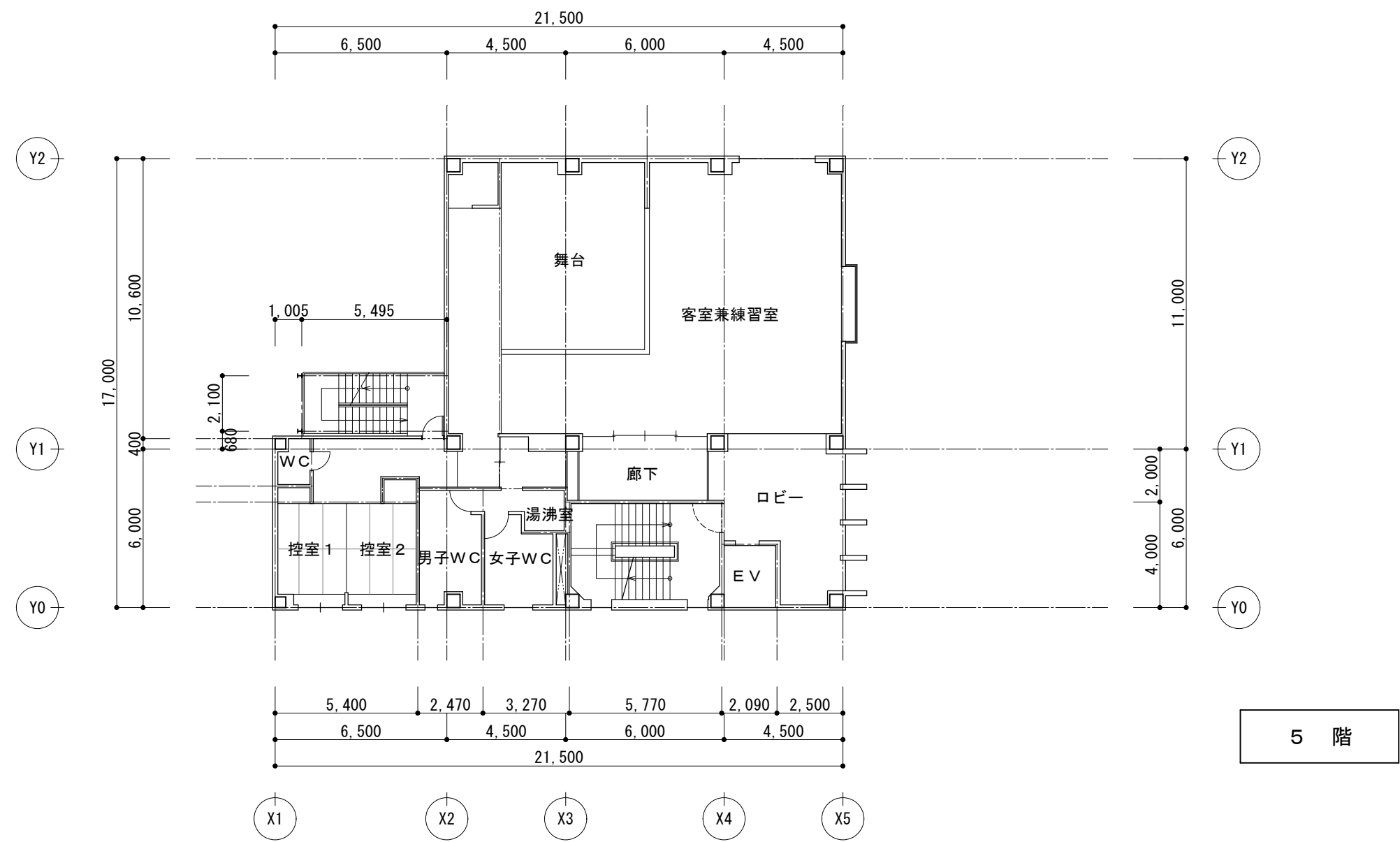
3 階



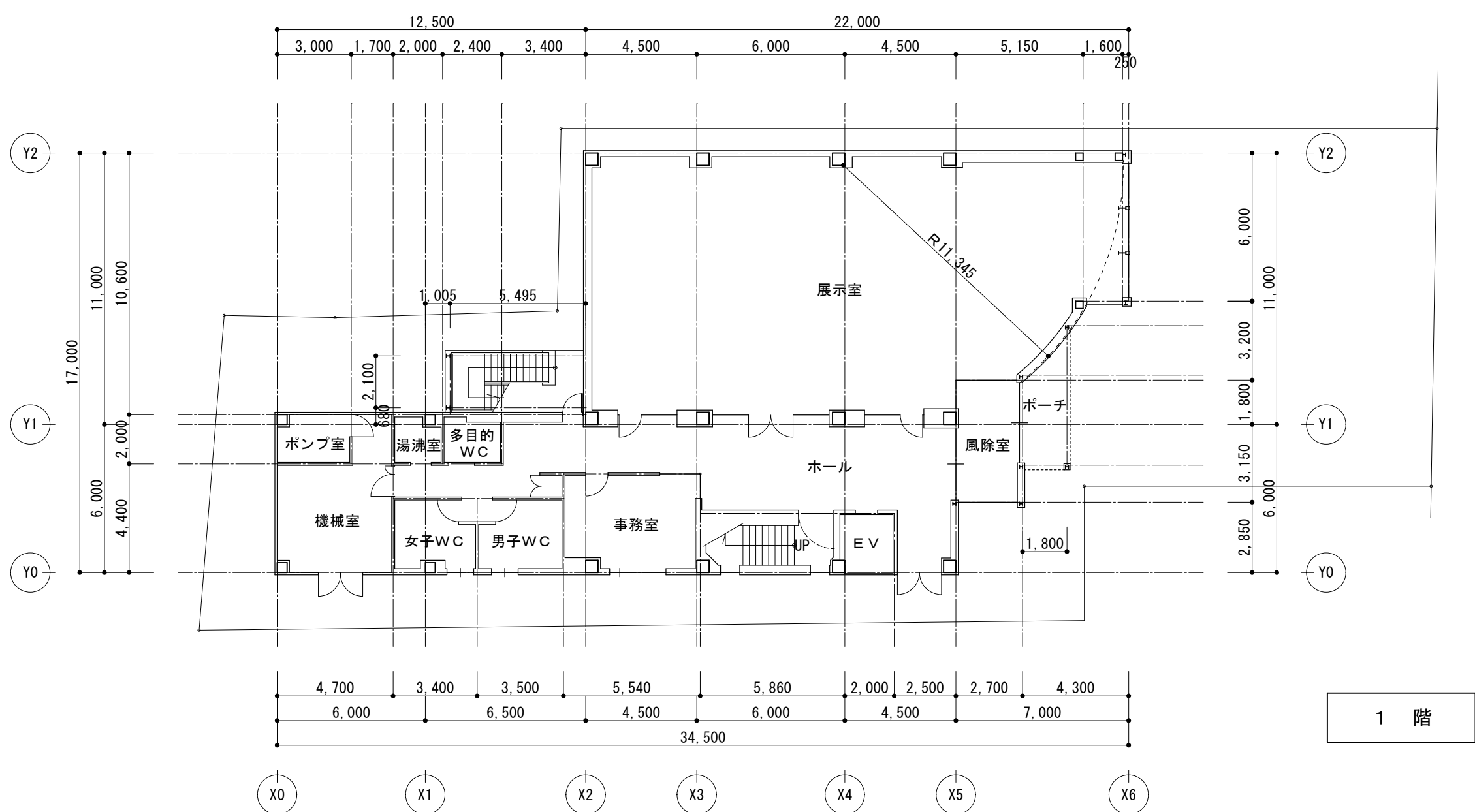
P H 階



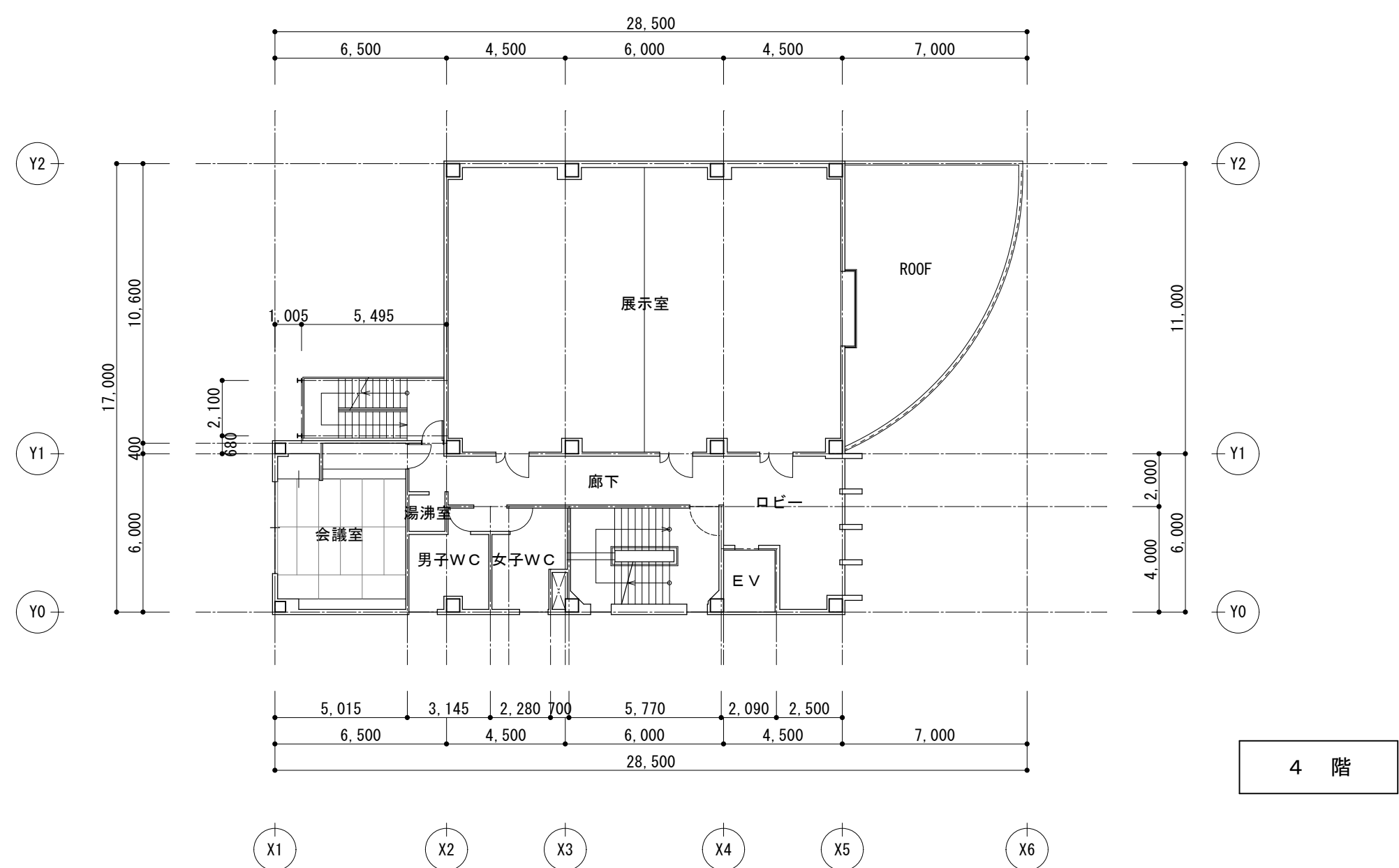
2 階



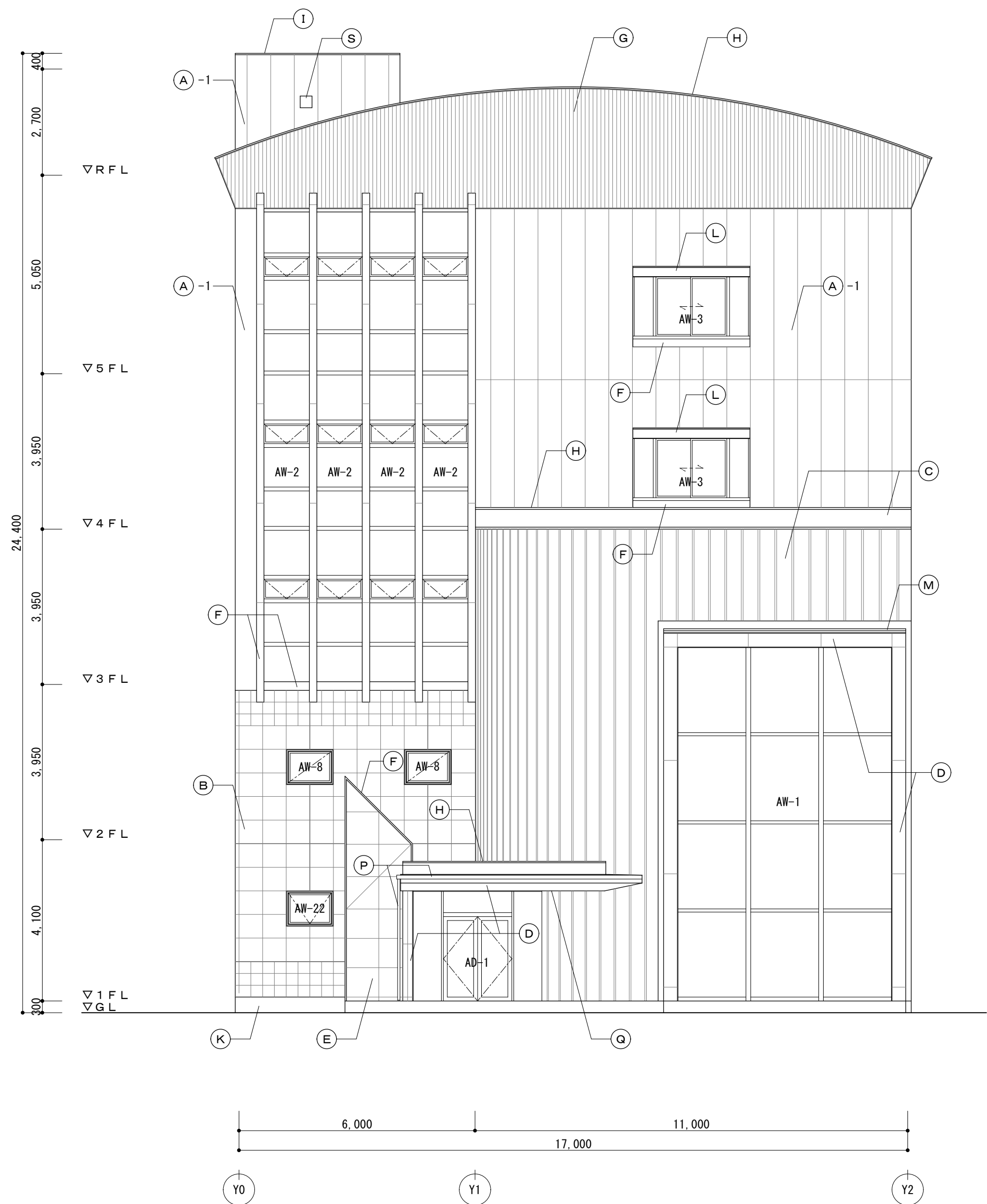
5 階



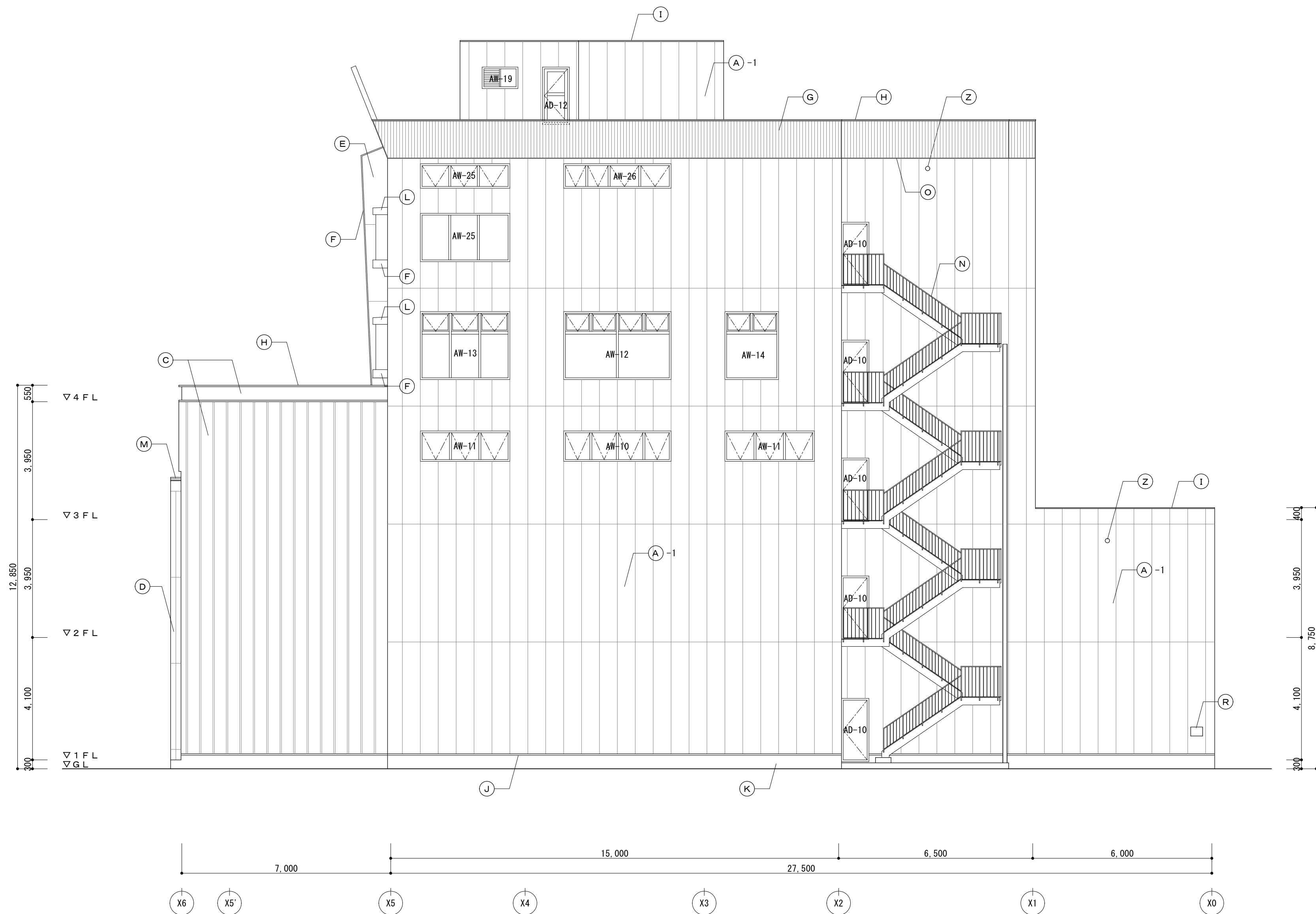
1 階



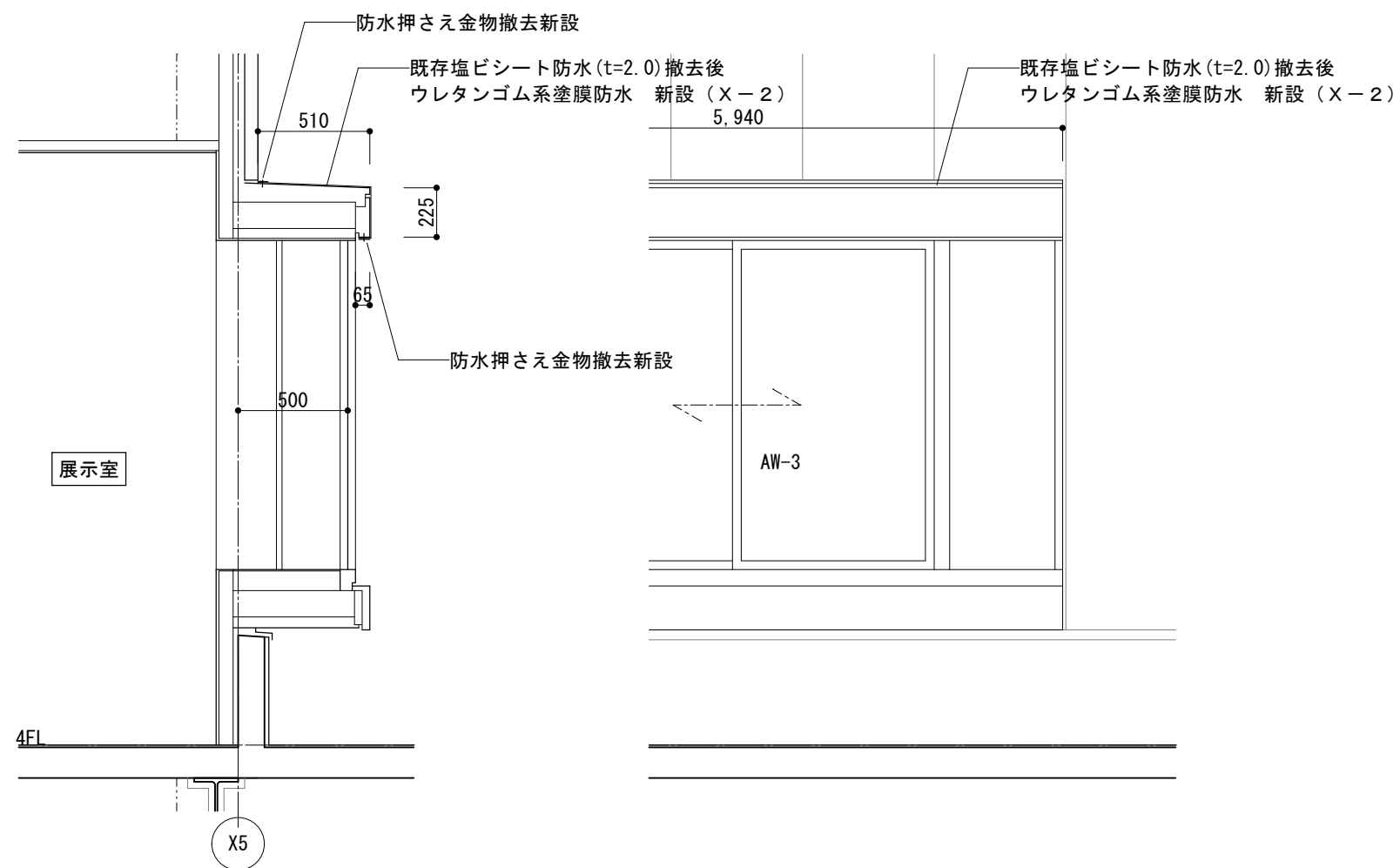
4 階



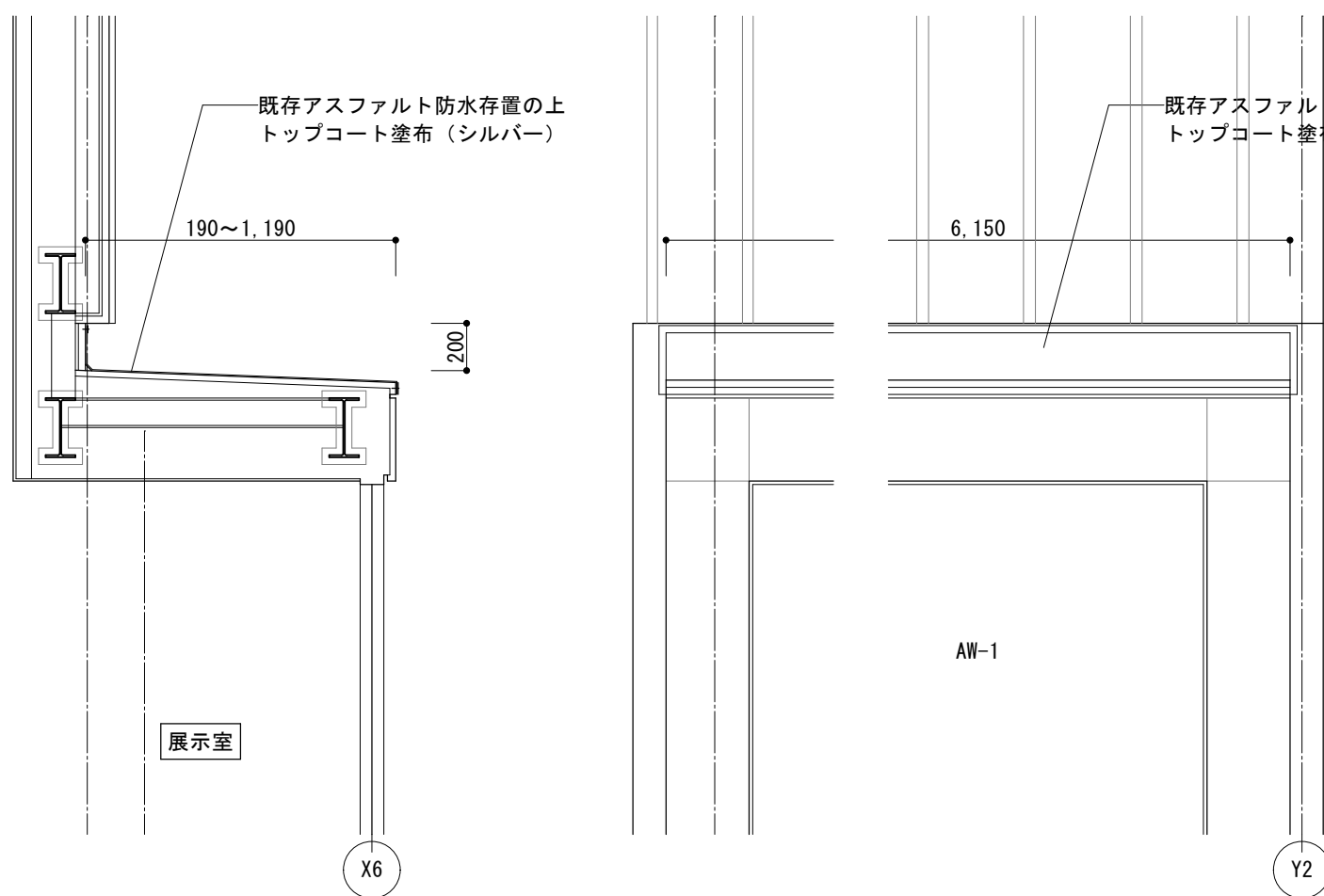
東立面図
(A1) S=1/100 (A3) S=1/200



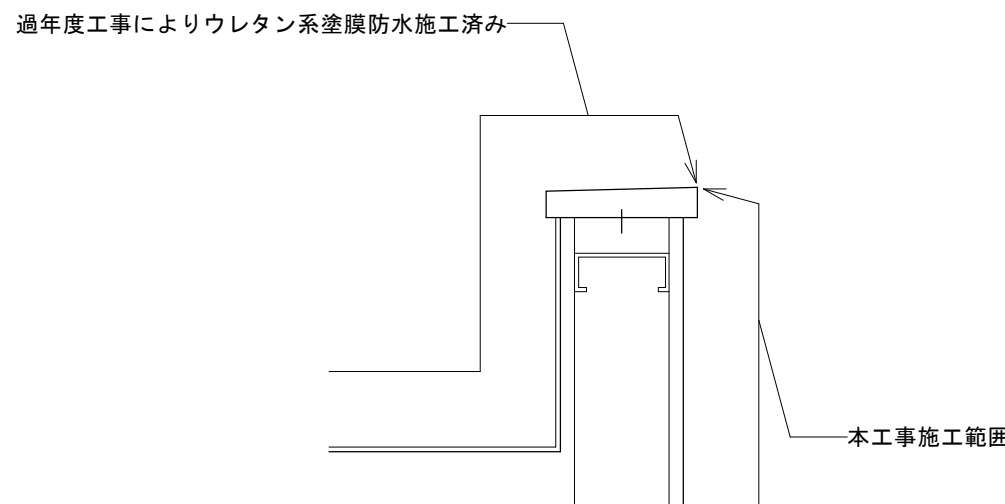
北立面図
(A1) S=1/100 (A3) S=1/200



L 出窓部詳細図
(A1) S=1/30 (A3) S=1/60

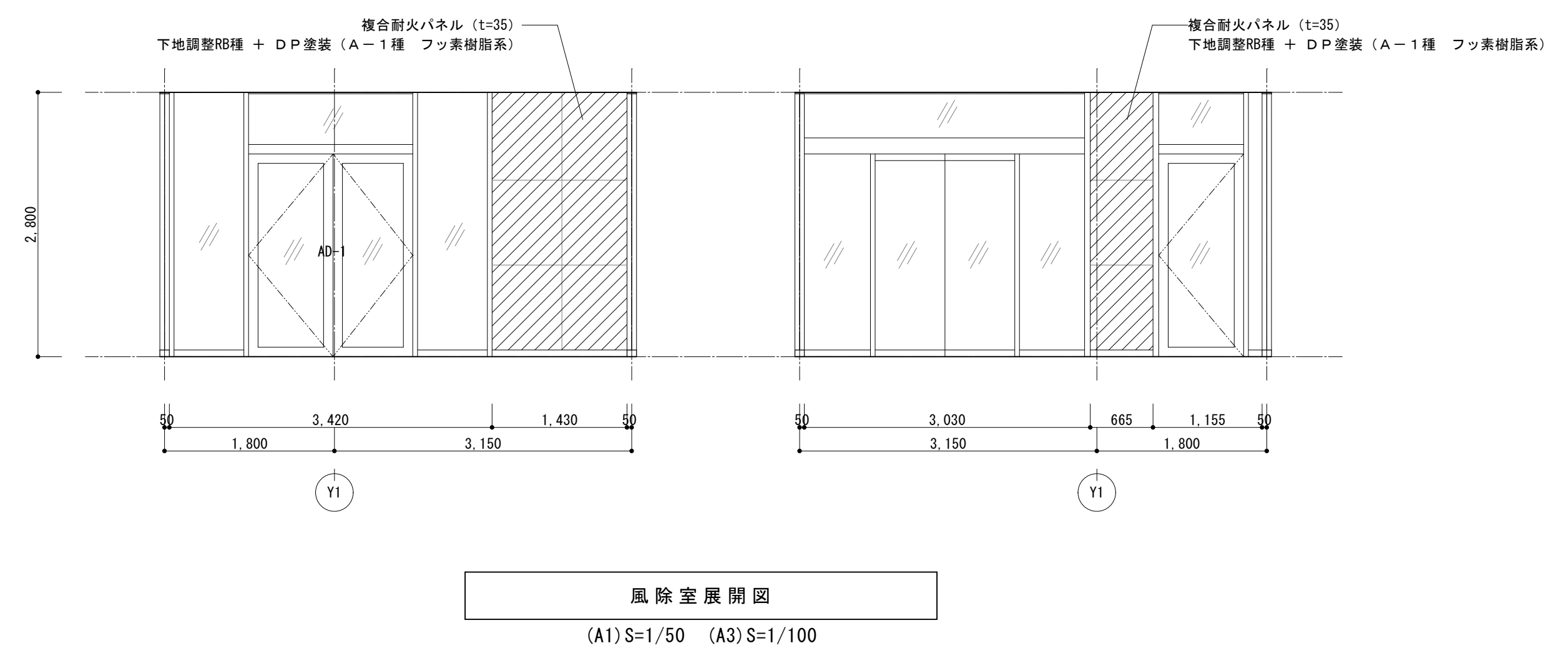
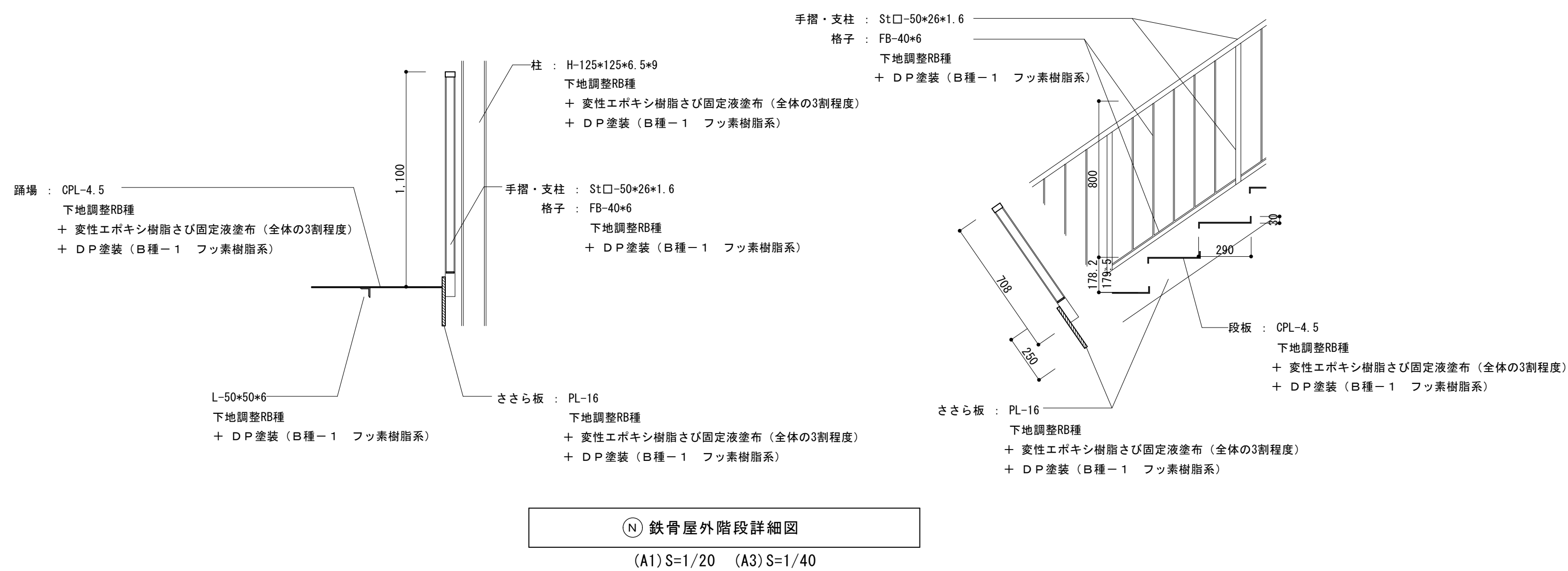
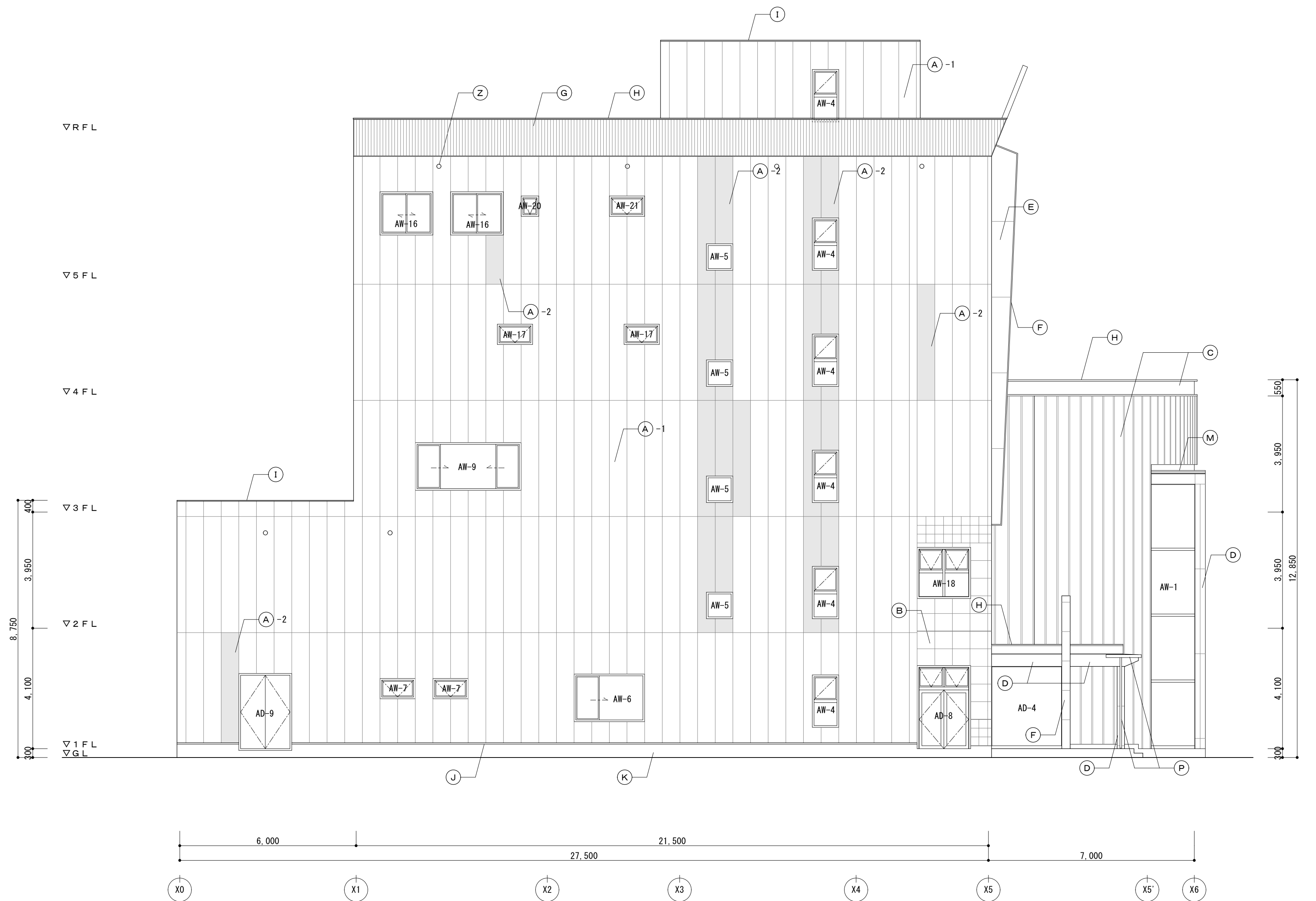
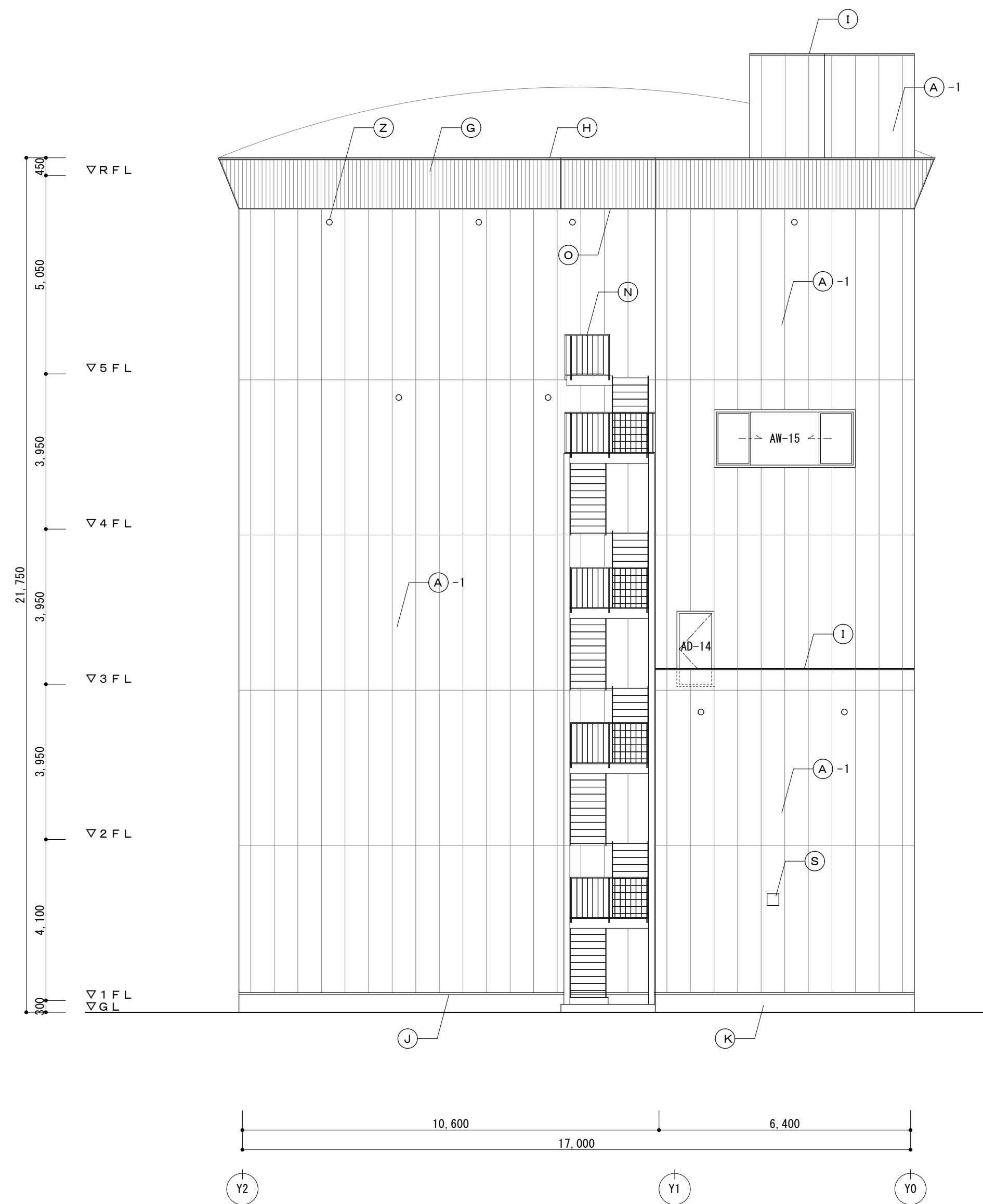


M 大開口上部詳細図
(A1) S=1/30 (A3) S=1/60

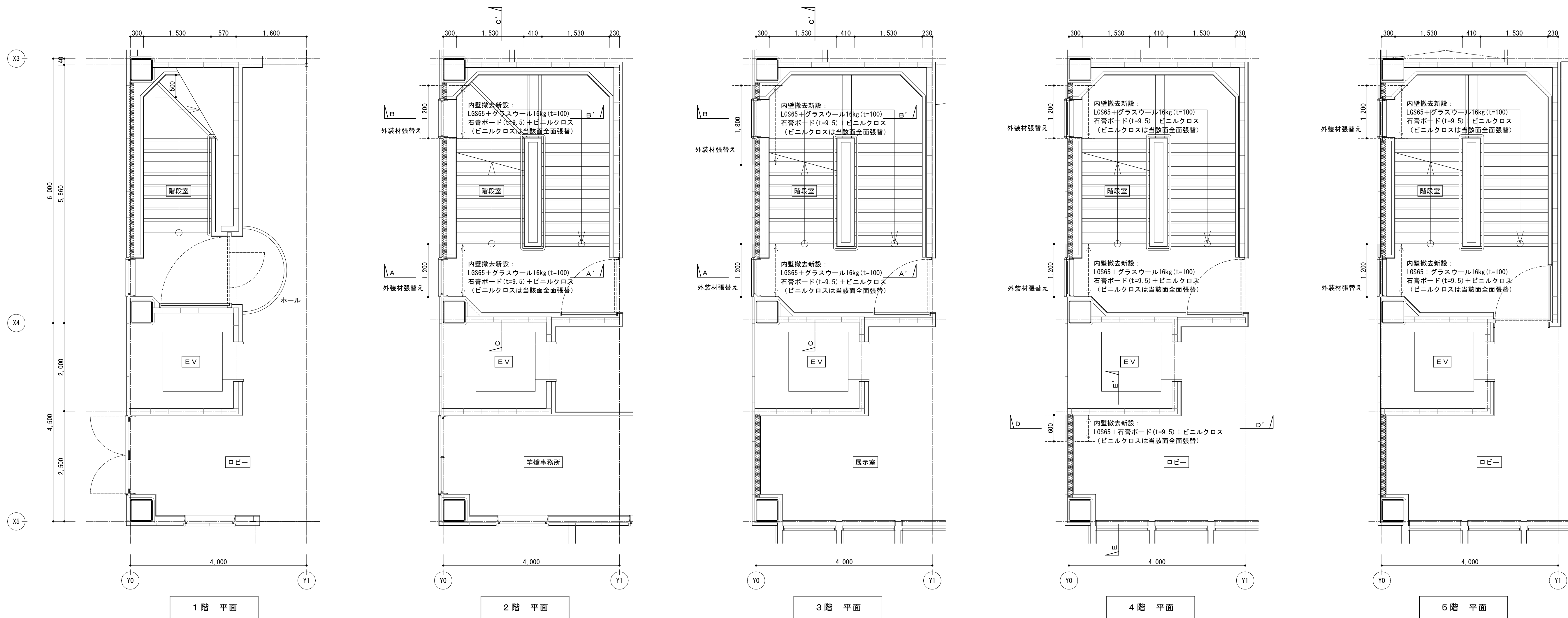
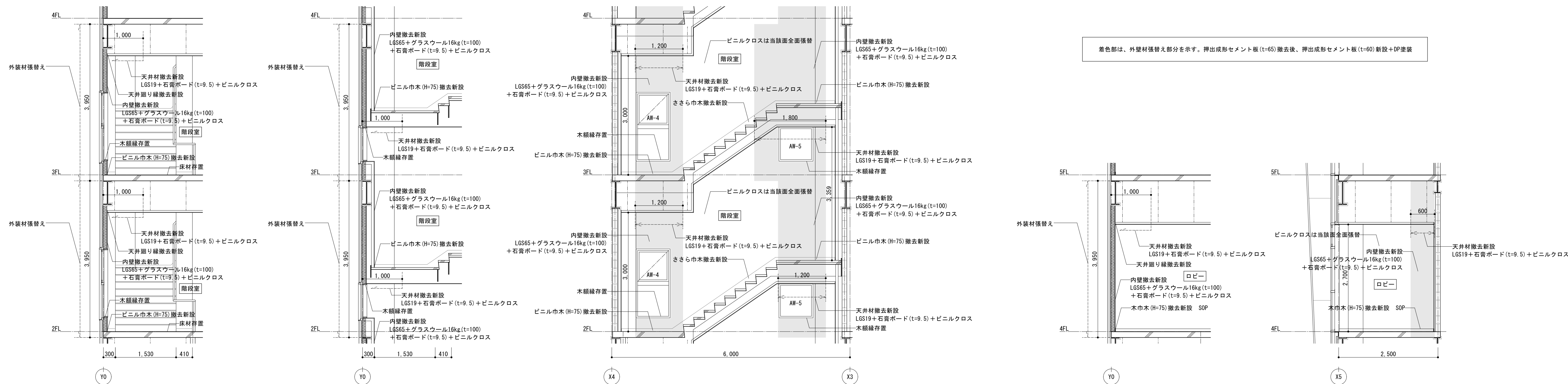


H 鋼板笠木詳細図
(A1) S=1/10 (A3) S=1/20

秋 田 市 建 設 部 建 築 課	件 名		秋田市民俗芸能伝承館外壁改修工事					種 別	立面図他			特 記	10 枚ノ内 区分	図面番号 7 A		
	課 長			副参事		副参事		設 計		縮 尺	(A1) 1/100、1/30、1/10 (A3) 1/200、1/60、1/20					
										設計年月日	R02. 07				年 度	R02



秋 田 市 建 設 部 建 築 課	件 名		秋田市民俗芸能伝承館外壁改修工事					種 別	立面図他			特 記	10 枚ノ内	8 図面番号	
	課 長			副参事		副参事		設 計	縮 尺	(A1) 1/100、1/50、1/20 (A3) 1/200、1/100、1/40					
								設計年月日	R02.07		年 度				R02
														区分	A



[illegible]

換気設備機器表(改修前)							
記号	機器名称	数量	仕様	電気容量			備考
				φ	V	W	
FE-1	有圧扇	2	羽根径：25cm 風量：876m³/h	1	100	26	撤去 1階機械室、EV機械室
	温度スイッチ	2	露出型				撤去 1階機械室、EV機械室
	ウェザーカバー	2	羽根径：25cm				撤去

換気設備機器表(改修後)							
記号	機器名称	数量	仕様	電気容量			備考
				φ	V	W	
FE-1	有圧扇	2	羽根径：25cm 風量：888m³/h 付属品：電動式シャッター・不燃枠	1	100	25	参考型番：EX-25EMP8 1階機械室・EV機械室
	温度スイッチ	2	露出型				参考型番：P-03CT 1階機械室・EV機械室
	ウェザーカーバー	2	羽根径：25cm SUS製 防虫網付				参考型番：P-25CVSD5

記 号	名 称 ・ 仕 様	備 考
 1L-1	電灯分電盤 1L-1	存置
	ブルボックス SUS製 屋外型	存置
	アウトレットボックス	存置
	サーモスタット収容箱 樹脂製 屋外型 300×300×140	撤去・新設
	サーモスタット	撤去・新設 サーモスタット収容箱内に設置
	ブレーケットライト	存置
.....	VWF2-0-20 (PF16)	存置

秋田市建設部建築課

種別

特記

R02

10

10

枚ノ内

区分